

■ 新 WIPAS の実証実験を南米チリ鉱山で実施

2011年（平成23年）

NTTは、ワイヤレスIPアクセスシステム（WIPAS）のグローバル展開を進めています。

アクセスサービスシステム研究所では、この一環として、2011年3月に、チリ鉱山にて、トリプルプレイ対応の新WIPAS（最大伝送距離：P-Pで7km、P-MPで2km）を使用して次の実証実験を行いました。

①基本伝送実験：粉塵環境下、距離3kmでの基本伝送特性の試験を行い、粉塵の影響なく、良好な伝送特性と安定したアプリケーション動作（HD動画伝送を1日連続運用）が行われることを確認しました。

②長距離伝送実験：P-P区間を延長しながら、変調方式と伝送速度を検証し、9kmまで64QAM変調（180Mbit/s）で、18.4kmまでQPSK変調（60Mbit/s）で伝送可能であるという結果が得られました。



図 新 WIPAS の外観